

第49回 令・冷・例・歴・連・老・労・録

答え

- | | | | |
|---------|----------|------|-------|
| 1 歴史 | 2 例文 | 3 連続 | 4 老 |
| 5 記録 | 6 苦勞 | 7 命令 | 8 冷たい |
| 9 連なる | 10 例える | | |
| 11 ろうじん | 12 かんれいち | | |

！字形に注意！

にすい
冷例老録
はねる
はねる
形に注意

第50回 知っているかな？ この言葉

考え方

今回は、お子さまにとってはやや耳慣れない言葉や言いまわしを出題しています。今の時点ですべての言葉の意味がわかる必要はありませんが、語彙を豊かにするために役に立ってくださいますように。
2 わからない場合は国語辞典で調べ、文脈にあうものを選びましょう。
3 「知っていたらカッコいい！」でも紹介していますが、ここでは「故事成語」を取り上げています。有名な言葉ですから、由来などを調べてみてよいでしょう。
4 ①「たしなめる」は「軽くしかる」、②「おごなり」は「いかげんな」、③「血相を変えて」は「顔色を変えて」、④「目散に」は「わき目もふらずに」といった意味です。

第51回 敬語 ①

考え方

敬語の使い方は、ときに大人にとっても難しい場合があります。お子さまにとってはなおさらだと思えますが、敬語は社会生活を送るうえで必要なものです。ご家庭で先生やお客様のことを話題にする際、日頃から敬語を用いて話すようにすると、自然と敬語に親しめるようになるでしょう。

1 単語などの形で出題していますが、わかりにくいようであれば、「わたしは」「先生は」といった主語を加えて考えてみると判断しやすくなるでしょう。

4 敬語の問題では、動作の主体が誰なのかをおさえることが重要です。①の主語は「ぼくは」ですから、「もらう」のけんじょう語である「いただく」を使います。②の主語は「母が」ですね。身内の動作ですから、「やる」のけんじょう語である「さしあげる」を使います。

答え

- | | | | |
|---------|--------------|-----|-----|
| 1 イ | 2 イ | 3 ア | 4 イ |
| 2 1 家です | 2 ありがとうございます | | |
| 3 帰ります | | | |
| 4 1 ウ | 2 ア | 3 イ | |
| | 2 さしあげた | | |

第52回 敬語 ②

考え方

尊敬語と謙譲語の使い分けをできるようになりましょう。どちらも相手への敬意の表現ですが、相手の動作を高めるのか、自分の動作を低めるのかによって使い分けします。

1 同じ言葉を敬語にする場合、直し方は一つではありません。例えば、①を「食べられる／お食べになる」、③を「される」とする直し方もあります。敬語として正しい使い方であれば、○としてください。

2 ①のウは「先生が」が主語ですから、尊敬語の「いらっしゃいます」を使います。②の工は「市長は」が主語ですから、尊敬語の「おっしゃる」を使います。③の工は「わたし」の動作ですから、謙譲語の「これんらくする」という形にします。

3 少し難しい問題ですが、同じ言葉でも意味が違う場合があることを意識しておきましょう。

答え

- | | | |
|----------------|--------------|-----|
| 1 1 めしあがる | 2 拝見しました | |
| 3 なさる | 4 くださった | |
| 2 1 ウ | 2 工 | 3 工 |
| 3 1 (順に) イ・ウ・ア | 2 (順に) ウ・ア・イ | |